



ミナミクロフジツボ（フジツボ目クロフジツボ科） *Tetracrita squamosa*

大きさ：直径 2~4cm ほど。

特 徴：富士山のようなきれいな円錐形をしたフジツボ。表面はザラザラしており、殻の色は濃い緑色。

分 布：本州中部以南。

フジツボは固着生活に適応しているため、体の構造が他の甲殻類とは大きく異なる。エビ、カニなどが歩行に用いる脚（歩脚）に相当する部分は、蔓状の蔓脚（まんきゃく）となり、海水中のプランクトンをろ過して食べるために用いている。体を覆っている殻とそれを閉鎖する蓋はエビやカニの背甲に相当する。

写真は、泡瀬通信施設向かいの干潟上に設置されている構造物（神アサギ；御願所）に付着していたフジツボであるが、だいたい 1m くらいの高さまでびっしりと見られた。従って、この場所は 1m くらいの深さとなるのであろう。

まるで火口を開いた山が無数に連なっているようにも見える。